

2018年08月24日

【格付維持/方向性変更】

イビデン

発行体格付： A [格付の方向性：ネガティブ → 安定的]
 コマーシャルペーパー： a-1

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

IC(集積回路)パッケージやプリント配線板などを手掛ける電子事業、DPF(ディーゼル微粒子除去フィルター)やシール材を中心としたセラミック事業が主力となっている。

ICパッケージは微細加工技術などをベースに先端品の開発力に優れる。PC需要の停滞で長年苦戦を強いられていたが、サーバー向けの需要増で補い、主要顧客向けの販売が増加に転じている。スマートフォン向け小型・薄型パッケージも生産体制の見直し効果が出つつある。プリント配線板は生産性改善に時間がかかり、市場シェアを落としているが、電子事業全体の競争力を大きく損ねるほどではないと判断している。

セラミック事業はディーゼル乗用車の減少の影響を受けるが、トラックなど中大型の商用車向けの受注増で補えそう。新興国での環境規制の強化が追い風となろう。不採算製品のテコ入れも進み、収益源としての位置付けは高まっている。建材や建設などの「その他事業」は小粒ながら安定した利益を生む。全体として、収益力は改善に向かおう。設備投資は増えるものの、中期的にみれば営業キャッシュフローで賄えそうで、良好な財務基盤が崩れる懸念は小さい。自己資本は厚く、潜在的な損失リスクに対するバッファを備える。

以上を踏まえ、発行体格付Aを維持し、格付の方向性を安定的に変更した。

【格付対象】

発行者：イビデン(証券コード：4062)

| 名称 | 格付 | 格付の方向性 |
|-------|-------|-------------|
| 発行体格付 | A(維持) | ネガティブ → 安定的 |

| 名称 | 発行総額(億円) | 発行日 | 償還日 | 格付 |
|----------|----------|-------------|-------------|-------|
| 第7回無担保社債 | 250 | 2014年04月23日 | 2019年04月23日 | A(維持) |
| 第8回無担保社債 | 150 | 2016年08月31日 | 2021年08月31日 | A(維持) |

| 名称 | 発行限度額(億円) | 担保・保証 保証会社等 | 格付 |
|------------|-----------|----------------|---------|
| コマーシャルペーパー | 100 | 無担保 | a-1(維持) |

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

信用格付に関わる事項

| | |
|----------------------------|--|
| 信用格付業者 登録番号 | 株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。 |
| 主任格付アナリスト | 浜田 貴之 |
| 信用格付の付与について 代表して責任を有する者 | 住田 直伸 |

| | |
|--|--|
| 信用格付を付与した日 | 2018年08月22日 |
| 主要な格付方法 | 事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018.05.31] 電子部品 [2016.08.17] 自動車部品 [2016.07.28] 設備機器等 [2016.03.09] |
| 上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html | |
| 評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html | |
| 格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html | |
| 格付関係者 | イビデン |
| 注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。 | |

| | |
|------------|---|
| 利用した主要な情報 | 決算書類、開示情報 |
| 品質確保のための措置 | 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。 |
| 情報提供者 | 格付関係者 |

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 **格付投資情報センター** 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。